



証券コード 5020

2025年3月28日

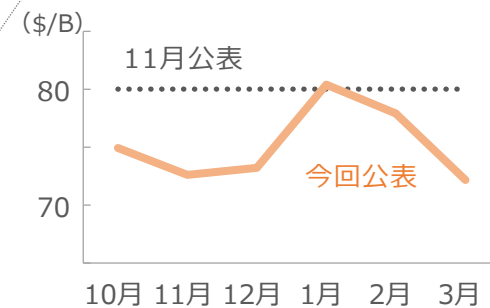
ENEOSホールディングス 2025年3月期 通期連結業績予想の修正

- 油価下落による在庫影響の悪化、金利上昇を主因としたのれん減損損失（石油製品事業）、JX金属の事業損益に係る表示区分変更*を主因に、営業利益は11月公表比▲3,950億円の250億円
- *) JX金属株式の売却に伴い、JX金属の事業損益 および 同社株式売却による利益は「非継続事業」に区分表示
- 非継続事業損益を含めた実質的な営業利益（在庫影響除き）は11月公表比+200億円の4,400億円の見通し

(億円)	11月公表	今回公表	差異
営業利益	4,200	250	▲3,950
うち 在庫影響	-	▲1,500	▲1,500
在庫影響除き営業利益	4,200	1,750	▲2,450
・ のれん減損損失（石油製品事業）	-	▲1,600	▲1,600
・ JX金属 事業損益	900	-	▲900
・ 上記除き	3,300	3,350	+50
非継続事業損益（営業利益相当）	-	2,650	+2,650
・ JX金属 事業損益	-	900 ¹	+900
・ JX金属株式の売却に伴う利益	-	1,750	+1,750
非継続事業損益を含む 実質営業利益（在庫影響除き）	4,200	4,400	+200

表示区分変更

ドバイ原油 価格前提



- 油価下落によるマイナスタイムラグ ▲200
- 白油マージンの良化ほか +250 (+360)

1) 金属事業の数値については当社連結数値のものです。JX金属株式会社としての連結業績予想については、同社の開示をご参照ください。

JX金属株式の売却に伴う利益

- ✓ JX金属の東京証券取引所への新規上場に伴い、当社が保有する同社株式の57.6%を売却
- ✓ 本件を踏まえた**次期中期経営計画を2025年5月に公表予定**

1) 売却益（57.6%）に加え、継続保有持分に係る評価益（42.4%）の合計
 2) 売却収入に加え、金属事業の有利子負債が非連結化されることにより良化

■ 財務影響（見通し）

営業利益 ¹	非継続事業損益に計上するため影響なし 営業利益相当額は+1,750億円
親会社所有者に帰属する当期利益 ¹	+1,300 億円
キャッシュフロー (売出価格820円ベースでの参考値)	+4,400 億円
ネットD/Eレシオ ²	0.20 良化

のれん減損損失（石油製品事業）

- ✓ 金利上昇等の外部環境の変化を受け、将来計画を見直し、JXホールディングス・東燃ゼネラル石油の経営統合（2017年）に伴い発生したのれん(IFRS上 非償却)につき、減損損失の計上を見込む
- ✓ 2017年度以降、生産体制の再構築、ブランドの統一、競争力の向上に資する取り組みを通じて統合効果は発現済み

■ 財務影響（見通し）

営業利益	▲ 1,600 億円
親会社所有者に帰属する当期利益	▲ 1,600 億円
キャッシュフロー	影響なし

連結キャッシュフロー

フリーキャッシュフローは、JX金属株式の売却収入を主因に5月公表から大幅に増加し、5,300億円の見通し

	2024年度 見通し	
	5月公表	今回公表
(億円)		
営業CF (休日影響除き)	6,040 (6,972)	6,000 (7,000)
設備投融資	▲4,930	▲4,900
資産売却ほか	390	4,200
投資CF	▲4,540	▲700
フリーCF (休日影響除き)	1,500 (2,432)	5,300 (6,300)

IFRS第16号「リース」適用除き

ネットD/Eレシオ

2025年3月末のネットD/Eレシオは、JX金属株式の売却収入に加え、金属事業の非連結化を主因に、2024年3月末から改善し、0.40倍の見通し

	2024年3月末 実績	2025年3月末 見通し (今回公表)
(億円)		
ネット有利子負債	20,000	16,100
資本合計	37,038	33,200
ネットD/Eレシオ ハイブリッド債資本性調整後	0.46倍	0.40倍

(ご参考) 在庫影響除き 営業利益・当期利益

(億円)	11月公表	今回公表	差異	主な増減要因
■ 在庫影響除き営業利益				
営業利益	4,200	1,750	▲2,450	
石油製品ほか	1,750	100	▲1,650	のれん減損損失 タイムラグ（油価下落）、白油マージン良化
機能材	110	160	+50	ブタジエン市況上昇
電気	170	230	+60	五井火力発電所の早期運転開始、JEPX価格上昇
再生可能エネルギー	10	▲40	▲50	陸上風力案件の開発中止
石油・天然ガス開発	800	800	±0	
金属	900	- ¹	▲900	JX金属株式売却に伴い、非継続事業として区分
その他	460	500	+40	
■ 非継続事業損益（営業利益相当額）				
金属	-	900 ¹	+900	
JX金属株式売却に伴う利益	-	1,750	+1,750	
■ 非継続事業を含む実質的な利益（在庫影響除き）				
非継続事業を含む 実質営業利益	4,200	4,400	+200	
親会社所有者に帰属する 当期利益	2,200	2,150	▲50	

1) 金属事業の数値については当社連結数値のものです。
JX金属株式会社としての連結業績予想については、同社の開示をご参照ください。

本資料には、将来見通しに関する記述が含まれていますが、
実際の結果は、様々な要因により、これらの記述と大きく異なる可能性があります。

かかる要因としては、

- (1) マクロ経済の状況またはエネルギー・資源・素材業界における競争環境の変化
- (2) 法律の改正や規制の強化
- (3) 訴訟等のリスク

などが含まれますが、これらに限定されるものではありません。